

さらに、昭和50年、51年、52年に生まれた人達(正確には昭和51年、52年、53年にポリオの定期予防接種を受けた人達)が十分な免疫を保有していないという現実直面していることより、これらの人達に対する追加予防接種の必要性が最近になって叫ばれています。

当市における昭和50年、51年、52年生れの人達の追加接種の状況は、平成11年末で全道平均の約3.0%に比べると高いものの6.1%と著しく低い値であります。

したがって、今後も乳幼児の定期予防接種とともに、この年齢群の人達の追加接種を促すことが重要であると考えます。

(会報担当者：成瀬 一徳 委員)

◎ 出席報告

会 員 数	56名	出 席 率	函 館 北	1月19日	84.90%
出 席 席	34名		函 館 東	1月18日	84.15%
欠 席 席	22名		函 館	1月13日	80.61%
他 クラ ブ 出 席	11名		函館五稜郭	1月14日	97.30%
出 席 合 計	45名		函 館 亀 田	1月17日	87.50%
除 外 者	3名				

・ テレフォンサービス(例会移動案内)電話 23 - 2377 番

<p>次回・2月13日 プログラム</p>	<p>「移動例会」 函館国際ホテル 午後2時</p>
---------------------------	--------------------------------



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

1999~2000年度 国際ロータリーテーマ

ロータリー2000: ROTARY2000: ACT WITH
 活動は一 堅 実 CONSISTENCY, CREDIBILITY,
 信 望・持 続 CONTINUITY

小池 凌一 会長テーマ 『友 愛』



2月2日卓話 石井 敏明 氏

《第1762回例会》 第28号 2月9日(水)

本日のプログラム

「高齢者介護の話」

社会福祉法人「函館カリタスの家」・特別養護老人ホーム「旭ヶ丘の家」
常務理事・副園長 祐川 真一 氏

★会 長 小池 凌一 ★幹 事 阿 相 義 則

例会場:函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日:毎週水曜日 12:30~13:30 事務局:函館市大手町5-10 二子ビル4F TEL23-3870

1999~2000 〈第1761回例会〉第27号

2月2日の記録

◎司 会 小池 凌一 会長 ◎斉 唱 君が代、それでこそロータリー

◎ゲ ス ト 市立函館保健所 所長 石井 敏明 君
交換学生 ミス ケリー・アン・ロング

◎ピジター 函館R.C.額賀康之君・勝木俊彰君、
函館五稜郭R.C.大日向豊吉君・斉藤東栄君

★2月誕生祝 大和会員(1日)、竹谷会員(4日)、西尾会員(14日)、
増田会員(16日)、加藤会員(18日)

★2月結婚祝 澤田会員(11日)、二葉会員(13日)、山下(満)会員(23日)

◎会長報告 小池 凌一 会長

○交換学生のミス ケリー・アン・ロング日本語が大変上手になりました。
ご挨拶をいただきます。

◎委員会報告

●交換学生委員会 北村 祐治 委員長

○ケリー・ロングの12月・1月のレポートの報告がありました。

◎幹事報告 阿相 義則 幹事

○本日ご案内致しましたが、当クラブ2月16日の例会は13日に変更し、午後2時より当ホテルにて開催致します。なおIMは午後2時30分点鐘となっております。

○当クラブ2月23日の例会は夜間例会に変更し、七飯R.C.との合同例会を開催致しますので、会員皆様のご出席をよろしくお願い致します。

○2月14日(月)函館亀田R.C.15日(火)函館東R.C.は共に移動例会に変更となっております。

◎親睦活動委員会 田畑 収 委員

ニコニコBOX投入報告

小笠原会員・森 会員……BOXに協力。

阿相幹事・山下会員・増山会員・松見会員・金子会員・藪下会員・北村会員・小池会長・中川会員……月初めなので。

竹谷会員・西尾会員・増田会員……誕生月なので。

野田会員……遺愛高校創立118年、感謝。

中野会員……お節句の前祝いとして。

緒方会員……ニャンニャン。

遠藤会員……石井保健所長の卓話、ありがとうございます。

◎卓話 「ポリオの根絶へ向けて」市立函館保健所 所長 石井 敏明 氏

ポリオはポリオウィルスによりひきおこされる疾患であるが、感染者のうち典型的ポリオを発症するのは、せいぜい1%程度といわれています。

しかし、一旦発症すると呼吸麻痺で死亡したり、命を取り留めても強い四肢の麻痺を遺すため古くから恐れられていた疾患の1つであります。

また、流行する特徴(特に1型、2型ウィルス)を有し、北海道においては昭和35年に約5,600人の患者が発生するという大流行がありました。

翌昭和36年より、全国的にワクチン接種が普及し、わが国における野生ウィルス株による感染は急速に減少し、昭和56年を最後に報告されていません。

現在、わが国では、平成13年にポリオ根絶宣言を行うべく全国規模の調査を実施中であります。一方世界のポリオ発生状況も年々減少の傾向にあり、わが国が属しているWHO西太平洋地域では平成9年を最後に新たな患者発生の報告はないが、アフリカ・印度などでは依然として野生株によるポリオ患者の発生がみられ、1988年にWHO総会で採択された2000年を目標に世界のポリオを根絶する決議の実現は不可能の状況となっております。

今後、わが国においてポリオの流行はないと予測されてはいるが、常在国への渡航者は多く、これら渡航者の中から免疫を保有していない人達の感染者や患者が発生することが危惧されています。